

○ 騒音・振動

騒音・振動に係る環境基準については、航空機騒音は達成されていますが、自動車騒音及び鉄道騒音は達成されていない地域があります。

○ 有害化学物質

有害化学物質に係る環境基準については、全て達成されています。また、指針値についても満足しています。

P R T R制度に基づき、市内の事業所から化学物質の排出量等の届出を受けています。

届出排出量の推移（単位：トン）

年 度	排 出 量
平成 16 年度	1,990
平成 17 年度	1,894
平成 18 年度	1,970
平成 19 年度	2,076
平成 20 年度	1,607

○ ゼロエミッションシティ広島の推進

(1) 一般廃棄物（ごみ）

ごみの減量化、資源化・再利用及び生活環境の保全を図るため、家庭ごみの8種類分別収集を行っています。

ごみ排出量の推移（単位：トン）

年 度	総量	家庭ごみ	事業ごみ		都市美化ごみ (町内清掃等)
			一般廃棄物	産業廃棄物	
17	414,819	227,555	178,763	6,122	2,379
18	404,845	233,084	163,692	5,937	2,132
19	394,418	229,202	156,788	6,438	1,990
20	375,964	220,787	146,073	7,259	1,845
21	367,101	217,072	139,033	9,194	1,802

※平成 17 年度、18 年度は、湯来町及び杉並台からの排出量(17 年度 1,447 トン、18 年度 1,694 トン)は含まない。

家庭ごみ処理の現況

可燃ごみ	市内 4 か所の清掃工場において、全量を焼却
その他プラ(容器包装以外のプラスチック)	中工場焼却
不燃ごみ	玖谷埋立地で埋立
大型ごみ	大型ごみ破砕処理施設において破砕後、再生、焼却及び埋立
資源ごみ (びん、缶、紙、布類)	西部リサイクルプラザ等で種類ごとに選別し、再生
ペットボトル	選別施設(民間事業者)で選別した後、容器包装リサイクル法ルートで再生
有害ごみ (蛍光管、乾電池等)	水銀の回収と併せて再利用を行う処理ができる民間業者に委託

(2) 産業廃棄物

排出量は、約 194 万トンで、業種別では、電気、ガス、水道業、建設業及び製造業が全体の約 99% を占めています。種類別では、汚泥、がれき類及び金属くずで全体の 85% を占めています。

産業廃棄物の処理状況

区 分	処 理 量
再生利用	約 68 万トン (約 35%)
中間処理により減量化	約 116 万トン (約 60%)
最終処分	約 10 万トン (約 5%)

<平成 21 年(2009 年)>

快適環境

○ 「水の都ひろしま」づくりの推進

平成 15 年(2003 年)1 月に策定した「水の都ひろしま」構想の様々な取り組みを計画的・効果的に進めるため、同年 10 月に「水の都ひろしま」推進計画を策定しました。この計画に基づき、4 つのモデル地区で、水辺のオープンカフェや水辺のコンサートなど、地区の特性に応じた取り組みを実施しています。

○ 潤いのある緑のまちづくりの推進

平成 13 年(2001 年)1 月に策定した「広島市緑の基本計画」と、その行動計画である「広島市緑の推進計画」に基づき、21 世紀の緑のまちづくりを推進しています。

なお、この計画の計画期間が平成 22 年(2010 年)で満了するため、ヒートアイランド現象等の環境問題への更なる対応など新たな計画課題に対応しつつ、将来にわたって緑化の推進と緑地の保全が総合的・計画的に推進できるよう、平成 20 年(2008 年)から改定作業に取り組んでいます。

○ 良好な都市景観の形成

本市では、「広島市景観形成基本計画」等に基づき、建築物等の景観誘導の推進やデザインに配慮した公共施設の整備、屋外広告物の適正な誘導など、良好な景観の形成に向けた取組を推進しています。

○ きれいなひろしま・まちづくりの推進

ごみのない清潔で快適な生活環境を実現するため、平成 2 年度(1990 年度)から、市民、事業者の協力を得ながら、「ぼい捨て未然防止対策」と「清

掃活動の推進」を柱とする「きれいなひろしま・まちづくり推進事業」を展開しています。

○ 文化財の保護・活用等の推進

文化財を保護し、正しく後世に伝え、適切な活用を図るため、調査・指定、指定文化財の保存事業、保護思想の普及啓発を図っています。

地球環境

○ 地球温暖化対策の推進

本市では、広島市地球温暖化対策地域推進計画に基づき、計画的な温室効果ガス排出量の削減に取り組んでいます。

(1) 本市域からの温室効果ガス排出量

平成 20 年度(2008 年度)速報値は 689.9 万トンで、基準年(平成 2 年(1990 年))から 26.2 万トン(3.7%)減少しています。

(2) 公共交通機関の利用者数

公共交通機関の一日平均乗車人員は、近年減少傾向でしたが、平成 14 年度(2002 年度)以降は横ばい傾向です。

<平成 20 年度(2008 年度)末現在>

(3) 市内における新エネルギー等の導入状況

市内における新エネルギー等の導入は、太陽光発電が増加しています。

市内における新エネルギー等の導入状況

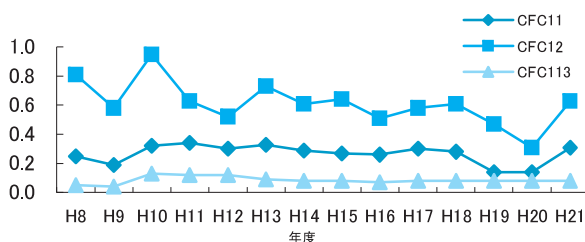
区分	導入状況
公共・産業用太陽熱	22 施設
公共・産業用太陽光発電	41 件
消化ガス発電	2 施設(800kW)

<平成 21 年度(2009 年度)末現在>

○ オゾン層の保護

オゾン層破壊の原因物質であるフロン濃度は、本市においては、横ばい傾向で推移しています。

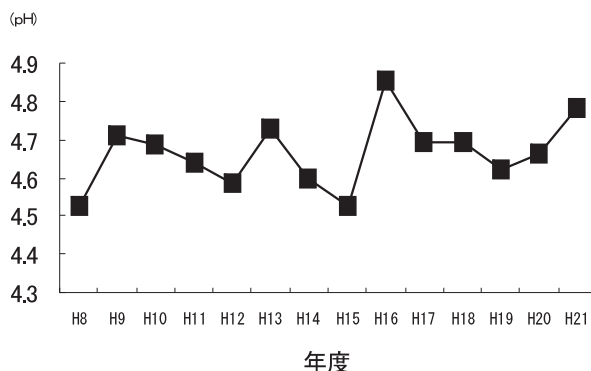
環境大気中のフロン濃度の推移(単位:ppb)



○ 酸性雨の防止

酸性雨対策を適正に実施するための基礎資料として、調査を定期的に行っています。

雨水の pH の推移



○ 国際協力の推進

都市環境協定への参加や、アジア地域等からの研修生の受入れなどを行っています。

市民・事業者・行政の協働

○ 環境教育・環境学習の推進

環境に関する出前講座に参加した人数は、9,934 人に増加しています。

公民館での環境学習グループ登録数は、9 グループになっています。

○ 市民・事業者の自主的な環境保全活動の促進

ひろしま情報 a-ネット(ひろしま市民活動支援総合情報システム)の環境保全分野に登録されている団体数は 53 団体になっています。

○ 市の率先的な取組の推進

平成 20 年度(2008 年度)の市役所庁舎 ISO14001 の環境目標(電気使用量やごみ排出量の削減などについて具体的な数値を定めた目標)の達成率は 66.7%になっています。